

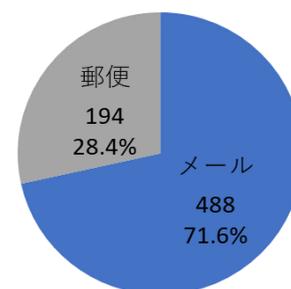
アルミ缶の回収に関するアンケート調査 結果

2022/4/15

■概要

回答期間	2021年10月13日～12月17日
回答率	83.7% (人口カバー率 84.5%※)
回答方法	メール、郵便

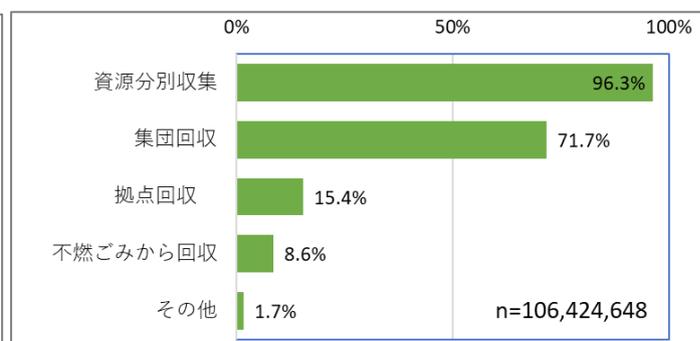
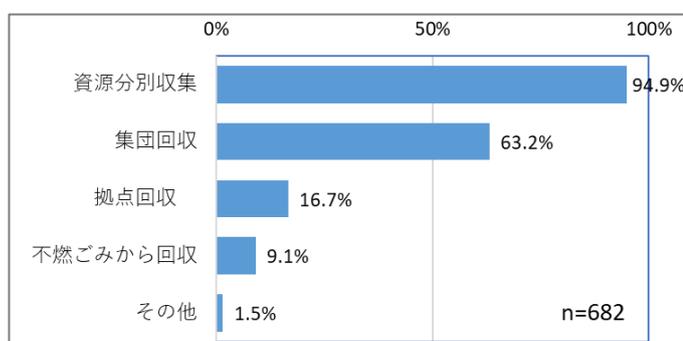
※回答人口 106,424,648 ÷ 総人口 125,880,000



2020年度の飲料用アルミ缶の資源分別収集について

Q1. 飲料用アルミ缶の行政回収ルート（複数回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
資源分別収集	647	94.9%	102,474,763	96.3%
集団回収	431	63.2%	76,288,411	71.7%
拠点回収	114	16.7%	16,391,009	15.4%
不燃ごみから回収	62	9.1%	9,128,158	8.6%
その他	10	1.5%	1,798,505	1.7%
有効回答数	682	100.0%	106,424,648	100.0%

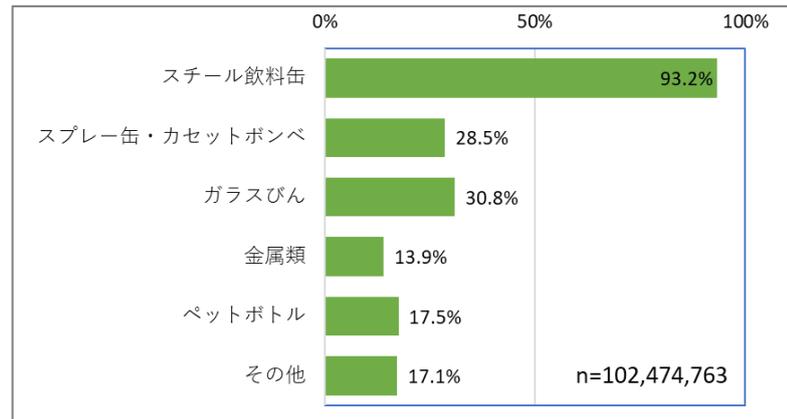
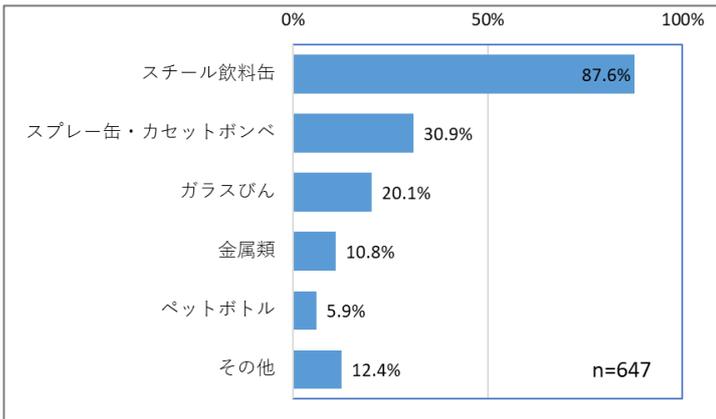


「資源分別収集」をおこなっている自治体は9割を超え、「集団回収」をおこなっている自治体は6割、人口比では7割を超えた。

「その他」には、「直接持込」が8件あった。

Q2. 飲料用アルミ缶の排出容器と一緒に入れる資源物（複数回答）

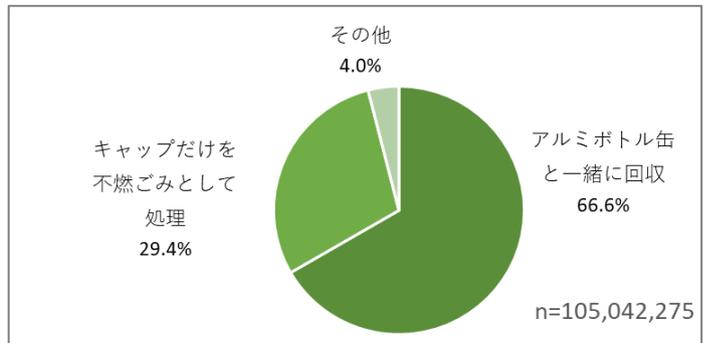
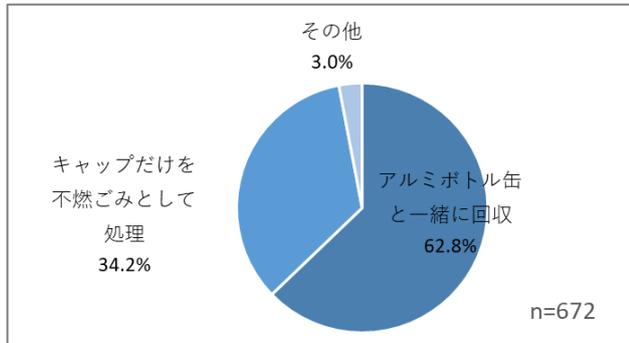
	回答自治体	割合	回答人口	割合
スチール飲料缶	567	87.6%	95,512,106	93.2%
スプレー缶・カセットボンベ	200	30.9%	29,256,286	28.5%
ガラスびん	130	20.1%	31,538,048	30.8%
金属類	70	10.8%	14,232,491	13.9%
ペットボトル	38	5.9%	17,891,520	17.5%
その他	80	12.4%	17,472,638	17.1%
有効回答数	647	100.0%	102,474,763	100.0%



「スチール飲料缶」が8割、人口比では9割を超えた。「ガラスびん」は自治体で2割、人口比では3割であった。「ペットボトル」は自治体では5.9%であったが、人口比では17.5%であった。「その他」には「食品缶」が多く（54件）、「乾電池」や「アルミ製品」などがあった。

Q3. アルミボトル缶のキャップの処理（択一回答）

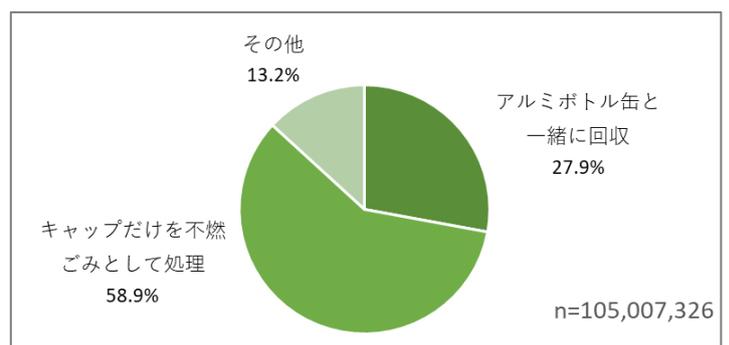
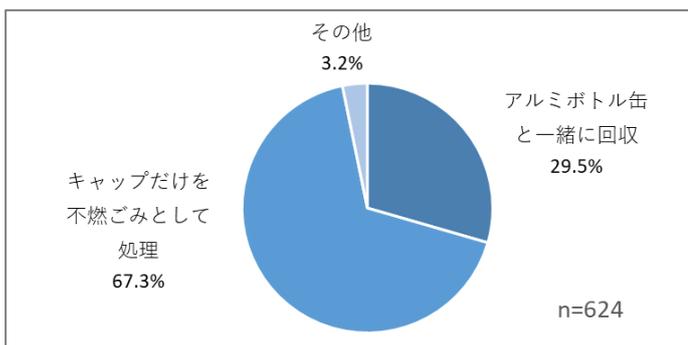
	回答自治体	割合	回答人口	割合
アルミボトル缶と一緒に回収	422	62.8%	70,022,516	66.6%
キャップだけを不燃ごみとして処理	230	34.2%	30,848,890	29.4%
その他	20	3.0%	4,170,869	4.0%
有効回答数	672	100.0%	105,042,275	100.0%



「アルミボトル缶と一緒に回収」が6割を超えた。「その他」には、「素材による」「可燃ごみとして処理」などがあつた。

Q4. アルミボトル缶以外（びん等）のキャップの処理（択一回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
アルミボトル缶と一緒に回収	184	29.5%	29,308,820	27.9%
キャップだけを不燃ごみとして処理	420	67.3%	61,887,874	58.9%
その他	20	3.2%	13,810,632	13.2%
有効回答数	624	100.0%	105,007,326	100.0%

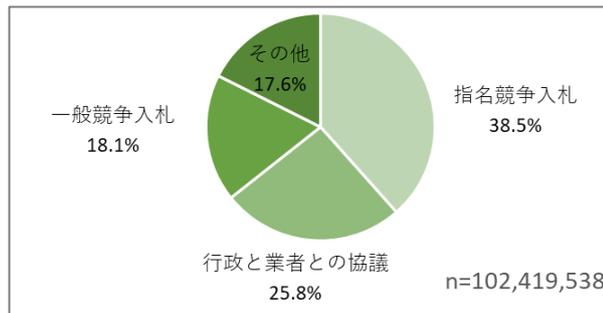
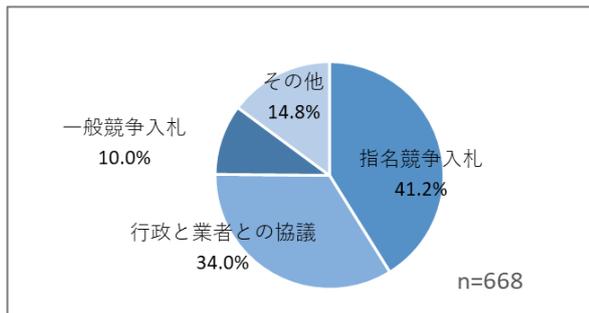


「キャップだけを不燃ごみとして処理」している自治体が6割、人口比で5割を超えた。「その他」には、「素材による」や「可燃ごみとして処理」があつた。

2020年度の飲料用アルミ缶の売却・処理・資源化量について

Q5. アルミ缶の売却（引渡）価格の決め方（択一回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
指名競争入札	275	41.2%	39,399,750	38.5%
行政と業者との協議	227	34.0%	26,457,949	25.8%
一般競争入札	67	10.0%	18,577,902	18.1%
その他	99	14.8%	17,983,937	17.6%
有効回答数	668	100.0%	102,419,538	100.0%

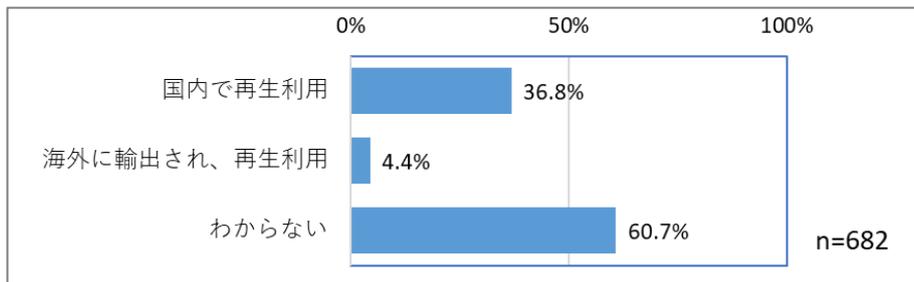


「指名競争入札」が自治体で4割、人口比で3割を超えて最も多い。

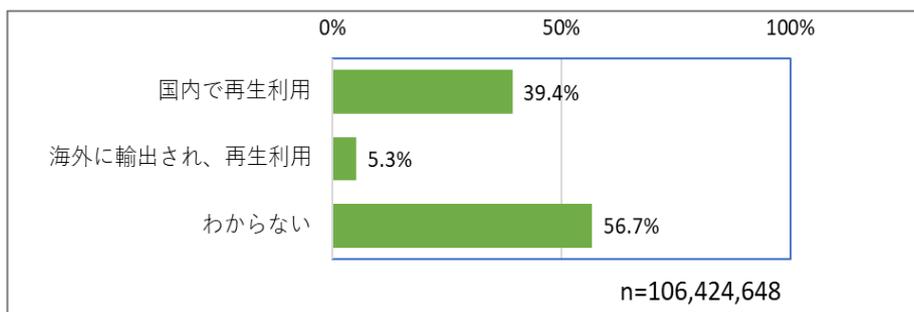
「その他」には、「見積合せ」が多く（18件）、「指し値」などがあつた。

Q6. 売却後の再生利用先（複数回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
国内で再生利用	251	36.8%	41,898,014	39.4%
海外に輸出され、再生利用	30	4.4%	5,649,175	5.3%
わからない	414	60.7%	60,374,253	56.7%
有効回答数	682	100.0%	106,424,648	100.0%

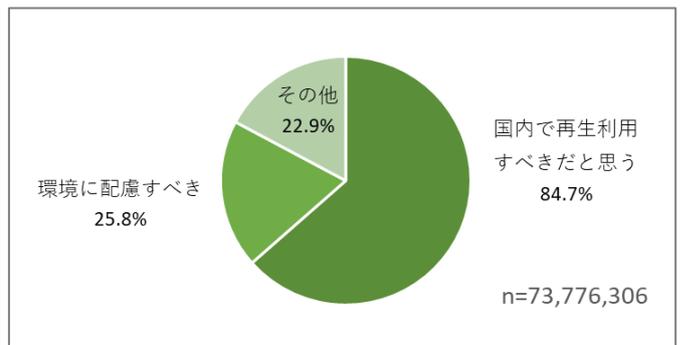
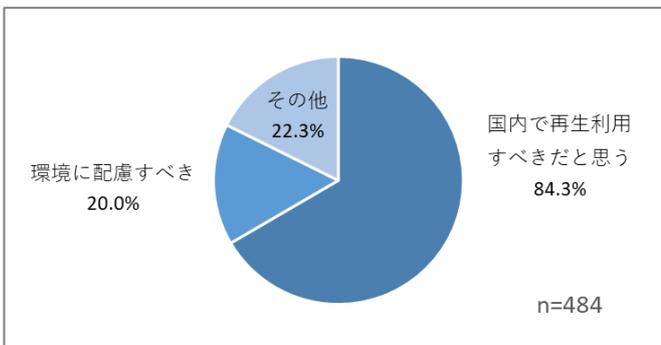


「わからない」が6割、人口比では5割を超えて最も多い。



Q7. 国内アルミ缶の約1/4が収集後に海外へ輸出され、再生利用されていることについて、
 どう思いますか。 例) 国内で再生利用すべきだと思う

カテゴリー（複数あり）	回答自治体	割合	回答人口	割合
国内で再生利用すべきだと思う	408	84.3%	62,505,718	84.7%
環境に配慮（温室効果ガス削減など）すべき	97	20.0%	19041106	25.8%
その他	108	22.3%	16902726	22.9%
有効回答数	484	100.0%	73,776,306	100.0%



「国内で再生利用すべきだと思う」が8割を超えた。「その他」の主な内容は、以下の通り。

- ・ 海外へ輸出される原因を特定し改善する。
- ・ 輸出規制や国内事業者の負担軽減に向けた支援が必要。
- ・ そもそも排出量を減らすことが先決だ。
- ・ 全て国内で再生利用できるルートの確立が必要。
- ・ 飲料メーカーが適正価格で買い取りすべき。
- ・ 本設問の内容についてのPRが必要だと思う。

Q8. 2020年度までの過去3年間のアルミ缶資源回収量

量ト	2018	2019	2020
	回答量	回答量	回答量
資源分別収集量	103,720	106,180	116,998
集団回収量 (自治体主導)	14,395	14,335	13,699
拠点回収量	1,875	2,094	2,013
直接持込量	1,389	1,311	1,494
その他	1,518	1,326	1,749
合計	122,897	125,246	135,953

●回答自治体数

- ・資源分別収集：回答自治体数 593、回答人口 93,780,487
- ・自治体主導集団回収：回答自治体数 242、回答人口 45,533,211
- ・拠点回収：回答自治体数 63、回答人口 9,606,850
- ・直接持込：回答自治体数 114、回答人口 10,135,466
- ・その他：回答自治体数 13、回答人口 1,678,984

【考察】

一部自治体の回答量が特定項目のみであったため、上記数量の推移は傾向を示すものである。
 これによれば、2020年のアルミ缶回収は家飲みの増加で分別回収量が大きく増えたことが明確となった。
 また自治体主導の集団回収は、緊急事態宣言等により一部で活動自粛を余儀なくされたようであるが、
 年間を通しては堅実に活動が行われたと推察される。

●2020年の自治体主導集団回収量の割合

- ・割合算出に必要な集団回収量と全回収量の両データを報告頂いた自治体は 228、人口 41,935,229
- ・集団回収量：13,111、全体回収量：65,949
 $\text{割合} = 13,111 \div 65,949 = 19.9\%$

この割合に、Q1に示された回答全人口に占める自治体主導集団回収の取組み率 71.7%を掛けると

自治体回収量全体に占める自治体主導集団回収量の割合 = $19.9\% \times 71.7\% = 14.3\%$

(参考)

同様計算で 2019年の割合を求めると、**16.7%**

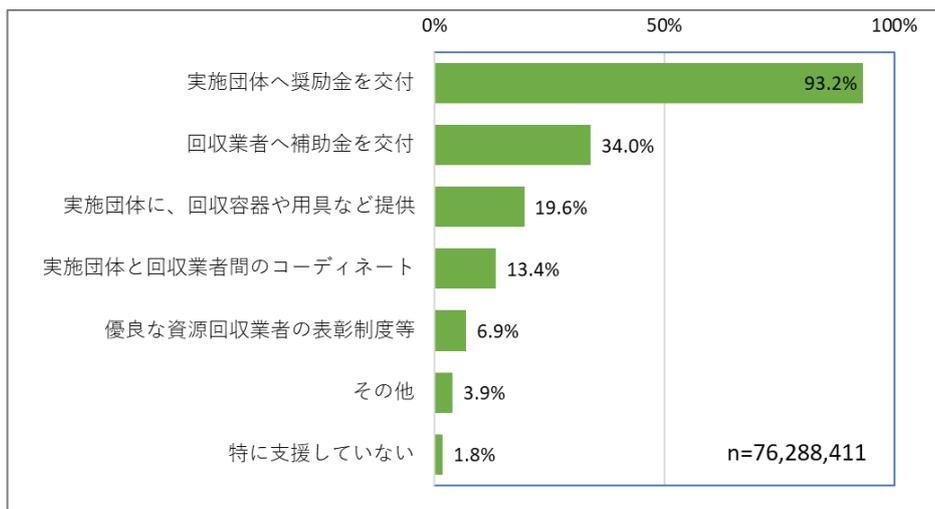
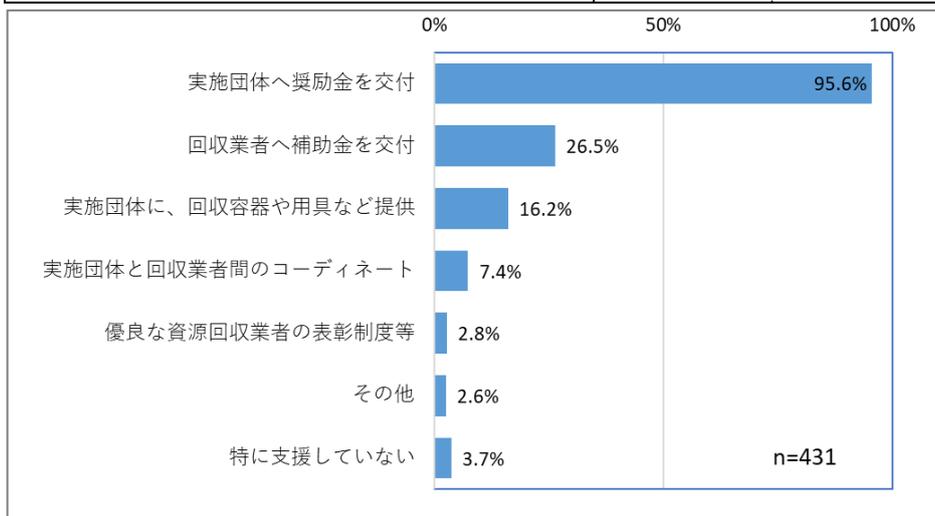
2020年度のアルミ缶の集団回収について

Q9. 集団回収の実施団体数

人口1万人あたりの実施団体数の平均は、7.06である。

Q10. 集団回収に対する行政の関与や支援（複数回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
実施団体へ奨励金を交付	412	95.6%	71,070,721	93.2%
回収業者へ補助金を交付	114	26.5%	25,974,037	34.0%
実施団体に、回収容器や用具など提供	70	16.2%	14,935,381	19.6%
実施団体と回収業者間のコーディネート	32	7.4%	10,249,056	13.4%
優良な資源回収業者の表彰制度等	12	2.8%	5,281,741	6.9%
その他	11	2.6%	3,011,317	3.9%
特に支援していない	16	3.7%	1,341,709	1.8%
有効回答数	431	100.0%	76,288,411	100.0%

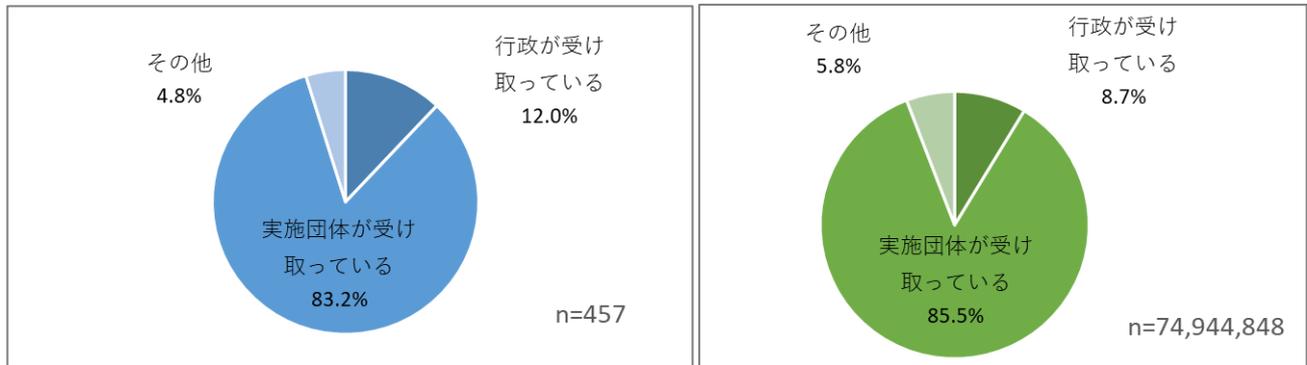


「実施団体へ奨励金を交付」が9割を超えた。

「その他」には、「広報のため広報車の貸し出し。チラシの作成」や「回収業者に収集運搬費として支払う」などがあった。

Q11. アルミ缶の売却金（択一回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
行政が受け取っている	55	12.0%	6,498,339	8.7%
実施団体が受け取っている	380	83.2%	64,088,649	85.5%
その他	22	4.8%	4,357,860	5.8%
有効回答数	457	100.0%	74,944,848	100.0%

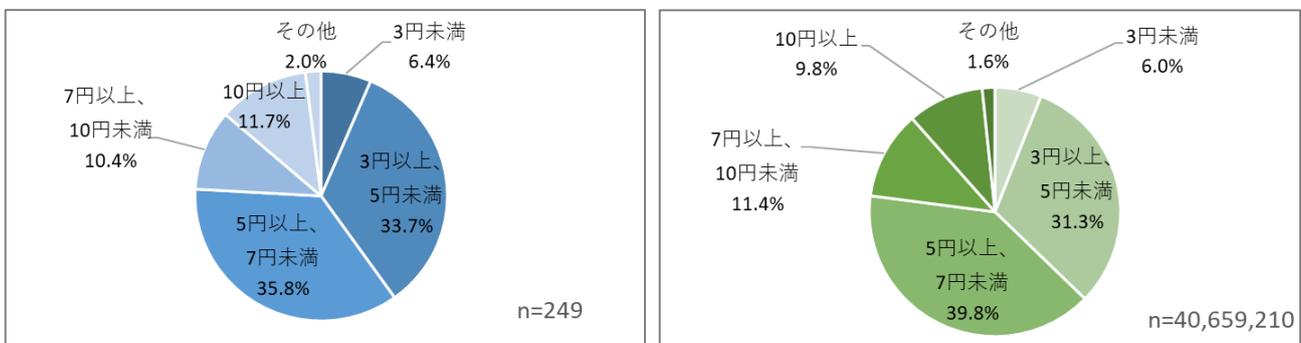


「実施団体が受け取っている」が8割を超えた。

「その他」には、「回収業者が受取っている」や「組合が受け取っている」などがあった。

Q12. アルミ缶集団回収団体への奨励金（kgあたり）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
3円未満	16	6.4%	2,435,413	6.0%
3円以上、5円未満	84	33.7%	12,728,226	31.3%
5円以上、7円未満	89	35.8%	16,177,499	39.8%
7円以上、10円未満	26	10.4%	4,652,299	11.4%
10円以上	29	11.7%	4,001,664	9.8%
その他	5	2.0%	664,109	1.6%
有効回答数	249	100.0%	40,659,210	100.0%

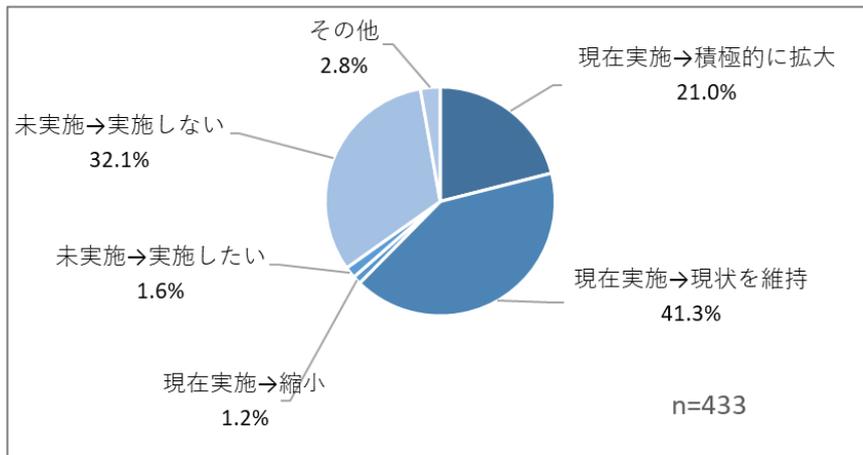


「5円以上、7円未満」が最も多く、「5円以上、7円未満」と共に3割を超えた。「10円以上」も約1割あった。

「その他」には、「売上代金×30%」や「1回2000円」などがあった。

Q13. 集団回収に係る今後の意向（択一回答）

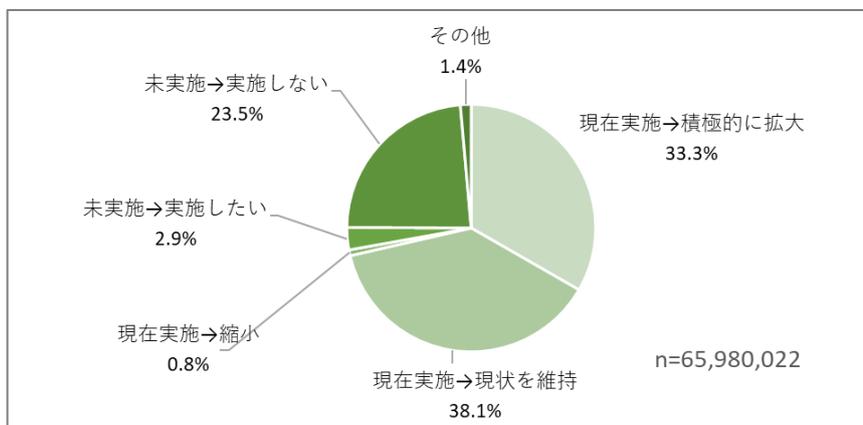
	回答自治体	割合	回答人口	割合
現在実施→積極的に拡大	91	21.0%	21,997,422	33.3%
現在実施→現状を維持	179	41.3%	25,103,859	38.1%
現在実施→縮小	5	1.2%	500,653	0.8%
未実施→実施したい	7	1.6%	1,929,061	2.9%
未実施→実施しない	139	32.1%	15,524,423	23.5%
その他	12	2.8%	924,604	1.4%
有効回答数	433	100.0%	65,980,022	100.0%



現在、集団回収を実施している自治体では、今後「現状を維持する」が4割程度で最も多い。現在実施していない自治体では、今後も「実施・把握しない」が多かった。

「その他」には、「品目を限定し、希望の地区のみ行う」や「報奨金は廃止する」などがあつた。

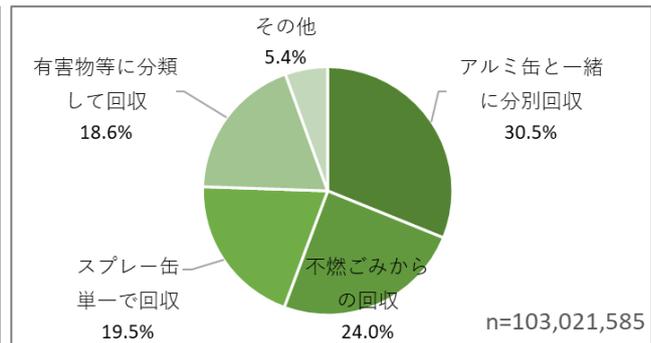
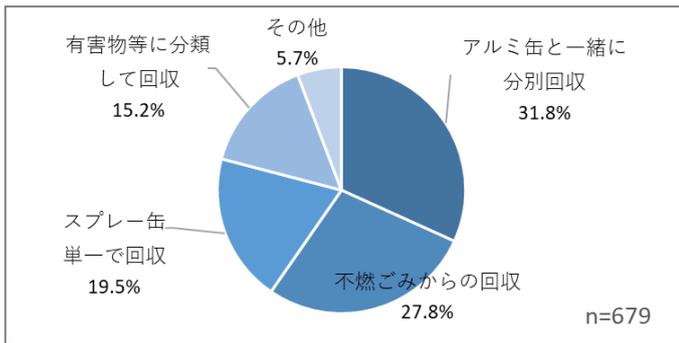
なお、この設問は集団回収を実施していない自治体も回答対象であつたが、無回答が多く有効回答数が433となっている。



2020年度のアリミ製スプレー缶の分別・処理について

Q14. アリミ製スプレー缶の回収ルート（択一回答）

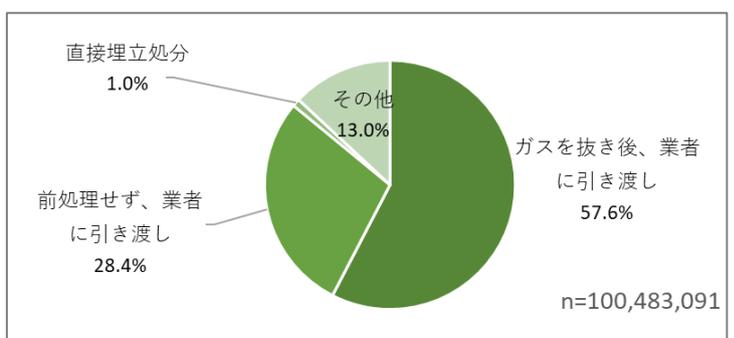
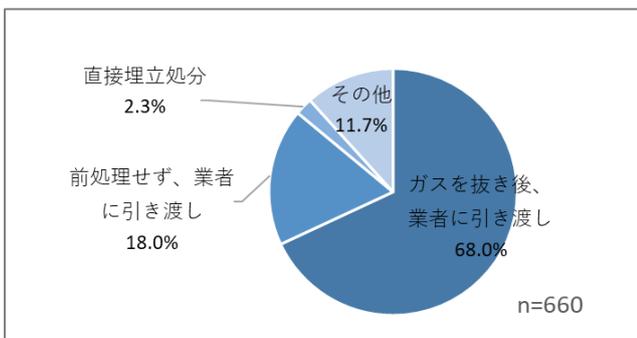
	回答自治体	割合	回答人口	割合
アリミ缶と一緒に分別回収	216	31.8%	31,470,814	30.5%
不燃ごみからの回収	189	27.8%	24,733,651	24.0%
スプレー缶単一で回収	132	19.5%	22,057,549	19.5%
有害物等に分類して回収	103	15.2%	19,216,928	18.6%
その他	39	5.7%	5,542,643	5.4%
有効回答数	679	100.0%	103,021,585	100.0%



「アリミ缶と一緒に分別回収」が3割で最も多く、次いで「不燃ごみからの回収」であった。「その他」には、「資源物として回収」などがあつた。

Q15. アリミ製スプレー缶の処理方法（択一回答）

	回答自治体	割合	回答人口	割合
ガスを抜き後、業者に引き渡し	449	68.0%	57,872,991	57.6%
前処理せず、業者に引き渡し	119	18.0%	28,546,009	28.4%
直接埋立処分	15	2.3%	998,267	1.0%
その他	77	11.7%	13,065,824	13.0%
有効回答数	660	100.0%	100,483,091	100.0%

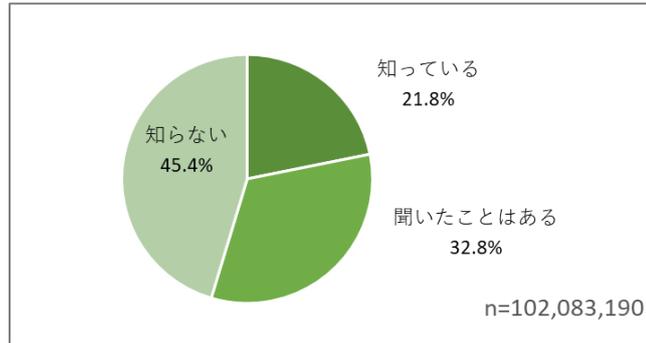
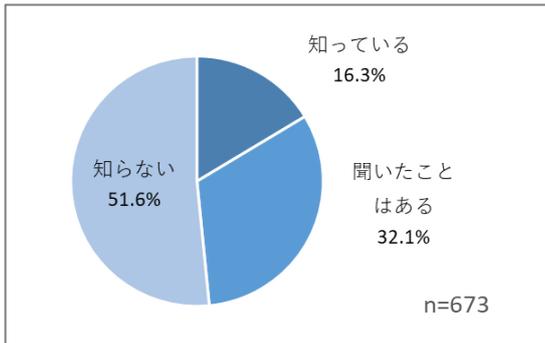


「ガスを抜き後、業者に引き渡し」が自治体で6割、人口比では5割を超えた。「その他」には、「(粉碎等) 前処理後、業者引き渡し」などがあつた。

アルミ缶リサイクル協会に関する情報について

Q16. 当協会が実施している「回収協力者表彰制度」をご存知ですか？

	回答自治体	割合	回答人口	割合
知っている	110	16.3%	22,268,487	21.8%
聞いたことはある	216	32.1%	33,502,855	32.8%
知らない	347	51.6%	46,311,848	45.4%
有効回答数	673	100.0%	102,083,190	100.0%



「知っている」は自治体で1割、人口比で2割を超えた。一方、「知らない」自治体は5割、人口比で4割を超えた。